

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人陽和福祉会	代表者	福井 雅子	法人・事業所の 特徴	通い、訪問、宿泊の3つのサービスを組み合わせる形態で居宅サービス計画を作成し、利用者の日常生活を支援し孤独感の解消や心身機能の維持向上並びに家族の負担軽減を図る。また、レクリエーションや各種イベントを行う事によりど根ぐりの森ならではの特色ある事業運営に努める。
事業所名	ど根ぐりの森	管理者	本木 孝		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	1人	人	人	人	人	人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	サービスの内容をフロア会議などで定期的に振り返り、常に利用者本位のサービス内容の提供に努めていく。	昨年度から実施されている夕方反省会やフロア会議、申し送りノートなどを活用していくことにより、随時改善点などを相談することを行い、常に利用者に合わせてサービスを提供することができました。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で事前情報の取得が難しいようすが、固有情報の蓄積や連携は積み重さによるものもあると思いますので、良い計画だったと思います。具体的方法が明示されており、工夫がわかりやすい。 ・職員間で改善が見られた件も、他職員の経験値となるよう広く周知できる機会が持てるとう良いと思います。 	職員間やケアマネが相談しやすい雰囲気作りに努め、利用者の情報共有を行い、サービスの質の向上を行っていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	3か月に一度を目安に事務所や倉庫などの書類や物品を確認し、不必要なものは破棄し整理整頓に努める。	できる限り整理整頓に努め、書類の整理なども行うようにしました。ただ、倉庫の整理については日々の業務に追われてあまり行う事が出来ませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋の様子から計画通りだと思います。 	日頃から整理整頓の意識をもち、不必要な物品や書類は処分していく。倉庫内は随時確認して、整理していく。
C. 事業所と地域のかかわり	フロア内で行えるレクや行事などをフロア会議で定期的に話し合い、充実させていく。また、当日の様子を写真にして、SNSなどに載せて外部に発信していく。	新型コロナウイルスの影響で外出などの行事はほとんどできませんでしたが、フロア内で出来るレクや行事、特に季節感のあるものについては積極的に行うことが出来ました。また、行事の写真などもSNSに上げるようにしていきました。	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSも拝見しました。これからもっと華やかになると良いです。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、行動にも制限があり、対外的な活動も思う様には実施できなかつたと思います。 	レク担当の職員がいるので、その職員を中心にレクや行事を楽しんで頂けるように各職員間で連携、協力していく。また、引き続き、当日の様子などは写真を撮り、SNSなどに載せて発信していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域包括や老人クラブなどから地域の行事やイベント情報の把握に努め、利用者と一緒に参加できるように配慮していく。	前年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響で地域の行事などへの参加はほとんどありませんでした。ただ、リモートによるイベントには数回参加させてもらい、利用者が楽しまれていました。	<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジカフェ等できる事は、工夫していると思いました。 ・ボランティアさんのリモートによる参加、協力は助かりますね。 ・コロナ禍、面会の機会が減少し、情報交換をする機会が少なくイベント等も中止が多い事から色々大変であったと思います。 	新型コロナウイルスの影響で、地域への行事などは参加が難しいと思うので、施設内のオレンジプラスカフェやリモートによるイベントへの参加などを充実させていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で意見や提案について、前向きに取り組んでいく。	前年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響であまり意見や提案を反映することができませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍、地域へ出向いての取り組みは困難があり、仕方がない事と思います。 	小規模多機能の情報を運営推進会議で随時報告し、意見や提案を出してもらい反映していく。
F. 事業所の防災・災害対策	防災マニュアルを常に確認するとともに、いざという時のために避難訓練、消防訓練を定期的に実施する。	年2回の避難訓練を行い、教育・防災委員会と連携して、マニュアルの確認や見直しを行っています。		教育・防災委員会と連携して年2回の避難訓練、防災マニュアルの見直しを行っていく。